

楽々通信

第127回 NPO 法人楽の会リーラ 月例会

【日時】2025年3月15日(土)13時30分～16時45分

【場所】豊島区立産業振興プラザ IKE・Biz 6階 多目的ホール

【主催】NPO 法人楽の会リーラ【共催】豊島区

1. 事務局から連絡:4月例会の場所は豊島区役所センタースクエアに変更、
女子カフェに相談コーナー設置予定
4月から変更のプログラム案内(学習会、家族会利用料、親父の居場所、等)

2. 講演:

テーマ:「ひきこもりへの理解と家族支援を医療の視点から考える」

講師: 天方 かおり 氏 (医師<精神科領域・神経発達症《発達障害》>)

講演要旨:ひきこもりと医療

診断を受けることで本人が楽になる、まわりが理解できる。

ひきこもりの引き出し屋の例:強制入院だったが、裁判で違法となった例。病院敗訴の例。

映画:どうすればよかったか、等

相談ケースから

1. 客観視することも大事:医療は必要? どうつなげる 居場所の活用
2. 20代女性

わめき:心の声、本人のきもちは分かってもらえない。病気ではない。とおもっている。

少し時間を使って、趣味に方向を変える。電車に乗れない、本人が分かってもらえる時に病院を紹介する。

3. 中学生男子

自己肯定感低い、仲間と遊ぶのは楽しい、等➡家族が力技でかんけいすると更に悪化する。ゲームと一緒にやる。仲間が増える。仲間から刺激受ける。生活の場がひろがる。発達障害で投薬効果の場合もある、病院を紹介。福祉は生活にかんけいする。

医療専門職:医療にできること

診断、治療、薬物療法、精神療法(家族療法、認知行動療法:とらえ方変わる、行動を変える、気分代わる。)

リハビリテーション、できなかったことをまたやる。制度の活用、手帳、年金、

ひきこもりで気になること。

暴言、暴力、ものにあたる

不機嫌、イライラ感 うつ、不安 活動低下 対人不安、自傷 希死念慮 強迫行為 感覚過敏

医療とつながるむつかしさ:、拒否、診察が短い、予約が取れない。家族支援の不足周囲の目が気になる。

本人のニーズ、何をしたいのか、どうなりたいか、本人はパワーが落ちていると何も意欲が出てこない。

家族、支援者:知識を増やす。話せる関係づくり、自身の心と体の健康に保つ。穏やかな状態にたもつ。

これから:医療機関増える、訪問診療が充実

3. ピアサポート相談員養成講座成果報告会:

成果報告者: ピアサポート相談員養成講座受講者 (ひきこもり経験者2名、家族2名)

所感:医師の講演、経験者の発表について、アンケート結果から大変好評でした。

<文責:運営委員>